

か い ご か て い 介 護 過 程

もんだい かいごふくしよく しょかい めんだん じょうほう しゅうしゅう りゅういてん もっと
問題 106 介護福祉職が、初回の面談で情報を収集するときの留意点として、最

できせつ えら
も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ようい こうもく つぎ つぎ しつもん
用意した項目を次から次に質問する。
- 2 もくてき いしき はなし き
目的を意識しながら話を聴く。
- 3 りょうしゃ どうせき じょうきょう しつもん
ほかの利用者が同席する状況で質問する。
- 4 さいしょ けいざいじょうたい かん しつもん
最初に経済状態に関する質問をする。
- 5 かぞく ようぼう ちゅうしん はなし き
家族の要望を中心に話を聴く。

もんだい かいごかてい ひょうか かん つぎ きじゆつ もっと てきせつ えら
問題 107 介護過程の評価に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選

ばな
さい。

- 1 生活状況が変化しても、介護計画で設定した日に評価する。
せいかつじょうきょう へんか かいごけいかく せつてい ひ ひょうか
- 2 サービス担当者会議で評価する。
たんとうしゃかいぎ ひょうか
- 3 相談支援専門員が中心になって評価する。
そうだんしえんせんもんいん ちゅうしん ひょうか
- 4 利用者の満足度を踏まえて評価する。
りようしゃ まんぞくど ふ ひょうか
- 5 介護計画の実施中に評価基準を設定する。
かいごけいかく じっしちゅう ひょうかきじゆん せつてい

もんだい つぎ きじゆつ かいごろうじんほけんしせつ たしよくしゆれんけい
問題 108 次の記述のうち、介護老人保健施設で多職種連携によるチームアプローチ
じっせん かいごふくししよく にな やくわり もっと てきせつ
(team approach)を実践するとき、介護福祉職が担う役割として、最も適切なも
えら
のを1つ選びなさい。

- 1 利用者の生活状況の変化に関する情報を提供する。
りようしゃ せいかつじようきよう へんか かん じようほう ていきよう
- 2 総合的な支援の方向性を決める。
そうごうてき しえん ほうこうせい き
- 3 サービス担当者会議を開催する。
たんとうしゃかいぎ かいさい
- 4 必要な検査を指示する。
ひつよう けんさ しじ
- 5 ほかの職種が担う貢献度を評価する。
しよくしゆ にな こうけんどう ひようか

つぎ じれい よ もんだい もんだい こた
次の事例を読んで、問題 109、問題 110 について答えなさい。

じ れい
〔事例〕

さい じよせい ひとりぐ しんたいきのう もんだい さい ちいき
Aさん(75歳, 女性)は, 一人暮らしで, 身体機能に問題はない。70歳まで地域の
こ たいしょうごと おし にんちしょう しんこう うたが しんぱい
子どもたちに大正琴を教えていた。認知症(dementia)の進行が疑われて, 心配し
ゆうじん ちいきほうかつしえん そうだん けっか かいごろうじんふくししせつ にゅうしょ
た友人が地域包括支援センターに相談した結果, Aさんは介護老人福祉施設に入所
にゅうしょじ ようかいごと
することになった。入所時のAさんの要介護度は3であった。

にゅうしょご たんきもくひょう しせつ な あんしん せいかつ げつ せつてい けいかく
入所後, 短期目標を, 「施設に慣れ, 安心して生活する(3か月)」と設定し, 計画は
じゅんちょう すず しせつ たいしょうごと みずか すず さんか えんそう
順調に進んでいた。Aさんは施設の大正琴クラブに自ら進んで参加し, 演奏した
りようしゃ たいしょうごと えがお おし ひ しゅうりょうご
り, ほかの利用者に大正琴を笑顔で教えたりしていた。ある日, クラブの終了後に,
へや もど まえ た ど かいごしょくいん こえ
Aさんは部屋に戻らずに, エレベーターの前で立ち止まっていた。介護職員が声をか
こ ま つよ くちょう い
けると, Aさんが, 「あの子たちが待っているの」と強い口調で言った。

もんだい たいしょうごと お あと こうどう かいしゃく ひつよう じょう
問題 109 大正琴クラブが終わった後のAさんの行動を解釈するために必要な情
ほう もっと ゆうせん えら
報として、最も優先すべきものを1つ選びなさい。

- 1 介護職員の声かけのタイミング
かいごしょくいん こえ
- 2 Aさんが演奏した時間
えんそう じかん
- 3 「あの子どもたちが待っているの」という発言
こ ま はつげん
- 4 クラブに参加した利用者の人数
さんか りようしゃ にんずう
- 5 居室とエレベーターの位置関係
きよしつ いちかんけい

もんだい じょうきょう しえん みなお
問題 110 Aさんの状況から支援を見直すことになった。

つぎ きじゆつ あら しえん ほうこうせい もっと できせつ えら
次の記述のうち、新たな支援の方向性として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護職員との関係を改善する。
かいごしょくいん かんけい かいぜん
- 2 身体機能を改善する。
しんたいきのう かいぜん
- 3 演奏できる自信を取り戻す。
えんそう じしん と もど
- 4 エレベーターの前に座れる環境を整える。
まえ すわ かんきょう ととの
- 5 大正琴を教える役割をもつ。
たいしょうごと おし やくわり

つぎ じれい よ もんだい もんだい こた
次の事例を読んで、問題 111、問題 112 について答えなさい。

じ れい
〔事例〕

さい だんせい しょうがいしえんくぶん さい のうこうそく
Bさん(50歳, 男性, 障害支援区分3)は, 49歳のときに脳梗塞(cerebral infarction)
はっしょう ひだりかたまひ こうじのうきのうしょうがい しんだん い
を発症し, 左片麻痺で高次脳機能障害(higher brain dysfunction)と診断された。以
ぜん だいく てさき きょう い
前は大工で, 手先が器用だったと言っている。

げんざい しゅうろうけいぞくしえん がたじぎょうしょ かよ たんきもくひょう みぎて つか さぎょう
現在は就労継続支援B型事業所に通っている。短期目標を, 「右手を使い, 作業を
じぶん おこな げつ せってい せいひん はこ い たんじゆんさぎょう まか
自分ひとりで 行える(3か月)」と設定し, 製品を箱に入れる単純作業を任されてい
りょうしゃ にんげんかんけい りょうこう ひだりかたまひ あ さぎょうだい まいにち さ
た。ほかの利用者との人間関係も良好で, 左片麻痺に合わせた作業台で, 毎日の作
ぎょうもくひょう たっせい せいかつしえんいん しょうらい てさき つか しごと つ
業目標を達成していた。生活支援員には, 「将来は手先を使う仕事に就きたい」と
きぼう はな
希望を話していた。

しょうらい む せいかつしえんいん あら せいひん くみた さぎょう ていあん よろこ
将来に向けて, 生活支援員が新たに製品の組立て作業を提案すると, Bさんも喜
う い しょにち がんば はじ とちゅう なんと て と
んで受け入れた。初日に, 「ひとりで頑張る」と始めたが, 途中で何度も手が止まり,
かんせいひん ふび み せいかつしえんいん こえ おおこえ
完成品に不備が見られた。生活支援員が声をかけると, 「こんなの, できない」と大声
だ
を出した。

もんだい せいかつしえんいん こえ たい おおこえ だ りゆう かいしゃく してん
問題 111 生活支援員の声かけに対し、Bさんが大声を出した理由を解釈する視点
もっと てきせつ えら
として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ほかの利用者との人間関係
せいかつしえんいん はな しょうらい きぼう
- 2 生活支援員に話した将来の希望
- 3 製品を箱に入れる毎日の作業量
せいひん はこ い まいにち さぎょうりょう
- 4 製品の組立て作業の状況
せいひん くみた さぎょう じょうきょう
- 5 左片麻痺に合わせた作業台
ひだりかたまひ あ さぎょうだい

もんだい たい かいさい たんきもくひょう たつせい
問題 112 Bさんに対するカンファレンス(conference)が開催され、短期目標を達成
ぐたいてき しえん みなお
するための具体的な支援について見直すことになった。

- つぎ きじゅつ みなお しえんないよう もっと てきせつ えら
次の記述のうち、見直した支援内容として、最も適切なものを1つ選びなさい。
- 1 完成品の不備を出すことへの反省を促す。
かんせいひん ふび だ はんせい うなが
 - 2 左側に部品を置いて作業するように促す。
ひだりがわ ぶひん お さぎょう うなが
 - 3 完成までの手順を理解しやすいように示す。
かんせい てじゅん りかい しめ
 - 4 生活支援員が横に座り続けて作業内容を指示する。
せいかつしえんいん よこ すわ つづ さぎょうないよう しじ
 - 5 製品を箱に入れる単純作業も同時に行うように調整する。
せいひん はこ い たんじゅんさぎょう どうじ おこな ちょうせい

もんだい じれいけんきゅう おこな じゅんしゅ りんりてきはいりよ てきせつ
問題 113 事例研究を行うときに、遵守すべき倫理的配慮として、適切なものを1
えら
つ選びなさい。

- 1 研究内容を説明して、事例対象者の同意を得る。
けんきゅうないよう せつめい じれいたいしょうしゃ どうい え
- 2 個人が特定できるように、氏名を記載する。
こじん とくてい しめい きさい
- 3 得られたデータは、研究終了後すぐに破棄する。
え けんきゅうしゅうりょうご はき
- 4 論文の一部であれば、引用元を明示せずに利用できる。
ろんぶん いちぶ いんようもと めいじ りょう
- 5 研究成果を得るために、事実を拡大解釈する。
けんきゅうせいかけ え じじつ かくだいかいしゃく